

研究名：小児におけるカテーテル先端培養陽性に続発する菌血症に関する検討

1．研究の目的

中心静脈ライン関連感染症は重要な感染症です。カテーテル先端の培養と血液培養から同一菌が検出されることで診断されますが、時にカテーテル先端培養は陽性にも関わらず血液培養は陰性で、その後しばらくしてから菌血症を発症する病態が知られています。黄色ブドウ球菌では、その発生率や、抗菌薬治療の有効性についての報告はありますが、それ以外の菌種での情報は限られています。そこで今回、当センターにおけるカテーテル先端培養陽性の小児患者さんを対象に、続発する菌血症の発生頻度を菌種ごとに検討することを目的として研究を行います。

2．研究の方法

研究対象：当センターにて2010年1月～2022年9月までにカテーテル先端培養陽性かつ血液培養陰性であった方

研究期間：倫理審査委員会承認後～2025年3月

研究方法：対象の患者さんに対してカルテを用いて情報を抽出し、菌種ごとの続発する菌血症の発症頻度について、また菌血症を発症した患者さんの特徴(年齢、性別、基礎疾患、抗菌薬治療の有無、種類と期間、予後など)について検討します。

3．研究に用いる情報の種類

年齢、性別、基礎疾患、検査所見(細菌検査所見含む)、抗菌薬治療の有無、抗菌薬治療有の場合はその種類と期間、予後(菌血症発症、死亡など)等

患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

4．情報の公表

研究内容は学会発表や学術論文の形で公表する予定です。

5．研究実施機関

国立成育医療研究センター

6 . お問合せ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、6月30日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 教育研修センター 久野陽菜

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181（内線：7887）

研究責任者：

国立成育医療研究センター 教育研修センター 久野陽菜